

2016年度 同志社大学大学院 司法研究科  
入学試験問題〔小論文〕

第1問

次の文章を読んで、問（1）、（2）に答えなさい。

問（1）（配点：20点）

『安全』であっても『安心』できない場合や、『安心』であっても『安全』ではない場合が生じる。」との結論を導けるように、「安全」と「安心」との関係について200字程度で説明しなさい。

問（2）（配点：30点）

あなたは、「安全」と「安心」が相違することを利用してお金を儲けようとする行為について、どのように考えますか。その行為に対する賛否を明らかにしつつ、500字程度で自論を展開しなさい。

第2問（配点：50点）

代理母出産の是非について、依頼人、代理母、生まれてくる子等の関係者それぞれの立場に配慮しつつ、800字以内で自由に論じなさい。その際、以下の文章および記事を手掛かりとし、また、自らの知識を用いてもよい。なお、本問は、代理母出産についての法的知識を問うものではない。

【文章の掲載は、省略。】

第1問

出典：加谷珪一『お金持ちの教科書』（株式会社阪急コミュニケーションズ、2014年、170-173頁）。出題との関係で、見出しサイズを縮小するなどの修正を加えている。

第2問

出典：小林亜津子『生殖医療はヒトを幸せにするのか』（光文社新書、2014年、第5章より）（出題との関係で、原文に適宜必要な修正を加えた。）

出典：「当事者の意見反映されてない」時事通信社2008年4月16日配信記事